

空幕人第160号(48)例規
61. 2. 14

改正：空幕人 第1329号(61.12.19)
空幕人 第 302号(1. 3.16)
空幕人 第 312号(3. 3.15)
空幕人 第 858号(4. 6.30)
空幕任 第 175号(6. 2.17)
空幕人計第 50号(10. 3.26)
空幕人計第 61号(18. 3.23)
空幕人計第 142号(18. 7.31)
空幕任 第 21号(19. 1. 9)
空幕人計第 119号(19. 8.31)
空幕人計第 123号(22.10.22)
空幕人計第 59号(27. 4. 2)
空幕人計第 126号(29. 5.29)
空幕人計第45号(令和元年6月1日)
空幕総第247号(令和元年6月27日)
空幕人計第38号(令和3年3月2日)
空幕人教第77号(令和5年4月1日)

防衛大臣直轄部隊長
総隊直轄部隊長
北空直轄部隊長
中空直轄部隊長
西空直轄部隊長 殿
南西空直轄部隊長
支援集団直轄部隊長
教育集団直轄部隊長
開発集団直轄部隊長
機関の長

航空幕僚長

自衛官等離職者身上書の作成送付について(通達)

標記について、61. 3. 1から下記により実施されたい。

なお、離職者通知票の提出について(通達)(空幕人第286号45. 3. 25)(航空自衛隊公報第437号掲載)は、61. 2. 28限り廃止する。

記

- 1 目的
地方協力本部等に自衛官等離職者身上書を送付し、募集業務等の資とする。
- 2 対象者

離職（死亡による離職を除く。）する航空自衛隊の自衛官及び自衛官候補生

3 作成送付責任者
編制部隊等の長

4 送付要領等

- (1) 作成送付責任者は、所属隊員が離職する場合、自衛官等離職者身上書（別紙様式）に所要の事項を記入した後、幹部自衛官については4部を、准空尉、空曹及び空士たる自衛官並びに航空自衛隊の自衛官候補生については3部を、航空自衛隊の予備自衛官の任用、服務等に関する達（昭和61年航空自衛隊達第24号）第2条第2号に規定する地区予備自衛官担当部隊等の長に当該隊員の離職後速やかに送付する。
- (2) 前号の規定により自衛官等離職者身上書を送付された地区予備自衛官担当部隊等の長の当該自衛官等離職者身上書の地方協力本部長等への送付等については、航空自衛隊の予備自衛官の任用、服務等の実施要領について（通達）（空幕人第1315号61. 12. 19）第2項第1号に定めるところによる。

5 その他

- (1) 自衛官等離職者身上書の記入要領は、別紙のとおり。
- (2) 記入後の自衛官等離職者身上書は、「注意（人事）」とし、当該隊員の離職後10年間保管する。
- (3) 予備自衛官の志願手続及び任期付自衛官登録希望者の登録については、航空自衛隊の予備自衛官の任用、服務等に関する達（昭和61年航空自衛隊達第24号）及び航空自衛隊における任期付自衛官登録制度について（通達）（空幕人計第56号27. 4. 1）による。

添付書類：1 別紙「自衛官等離職者身上書記入要領」

2 別紙様式「自衛官等離職者身上書」

配布区分：人事教育局人事計画・補任課長、防衛大学校長、防衛医科大学校長、防衛研究長、統合幕僚長、陸上幕僚長、海上幕僚長、統合幕僚学校長、自衛隊サイバー防衛隊司令、各方面総監、自衛隊情報保全隊司令、自衛隊体育学校長、自衛隊中央病院長、各地方協力本部長、情報本部長、防衛監察監、各地方防衛局長、防衛装備庁長官

自衛官等離職者身上書記入要領

1 全般

黒インキ又は黒ボールペンを使用して、かい書で丁寧に記入する。

2 細部記入要領

項 目		記 入 要 領
宛先地本		離職後の住所（不明の場合は親又は親に準ずる者の住所、親又は親に準ずる者の住所も不明の場合は本籍地）の区域を担当する地方協力本部名を記入する。この場合、自衛隊法施行令（昭和29年政令第179号）第48条第2項を参照し、正確に記入のこと。特に北海道の場合、四つの地本があるので注意のこと。
入隊区分及び期別		入隊区分（例 新隊員 自衛官候補生 生徒 航学 一般曹候）及び入隊期別（第〇〇期）を記入する。
退職時	階 級	離職時の階級を記入する。（ . . ）内には、昇任年月日を記入する。
	号 俸	離職時の号俸を記入する。（ . . ）内には、昇給年月日を記入する。
	職 種	配置特技職の名称を記入する。（ ）内には、配置特技職の番号を記入する。 定年前の「付」発令後離職する者は、「付」発令前の配置特技職を記入する。 課程履修中に離職した者は、「〇〇課程履修中」と記入する。 1等空佐（特別昇任を含まない。以下同じ。）以上の者は、補職（例 〇〇基群司令）を記入する。
	特 技	主特技と第2特技の名称を記入する。1等空佐以上の者は、記入しない。 （ ）内には、主特技と第2特技の番号を記入する。
	最終学歴	大学の場合、学部、学科まで記入する。（ . ）内には、卒業年月を記入する。
最終所属部隊等		編制単位部隊まで（例 中警団 基群 会計隊）記入する。 （ ）内には、部隊等の所在する基地又は分屯基地名を記入する。
離職の理由		離職区分（例 依願、任満、定年、勸奨等）を記入した後、定年及び勸奨退職以外については、離職の理由をできるだけ具体的に記入する。特に、入隊後1年未満の離職者については、募集上の参考になるように退職の経緯等を含めて記入すること。
勤務成績等	人事評価・勤務成績	1等空佐以下の者については、退職する日前における直近の人事評価又はその他の能力の実証に基づく勤務成績の結果に✓を付ける。
	適格性	予備自衛官及び元自衛官の再任用に関する訓令（昭和36年防衛庁訓令第59号）第1条の規定により自衛官に再任用する者（以下「再任用自衛官」という。）としての適格性について、それぞれの採用の条件を満たす者だけ、適又は不適に✓をつける。不適の場合は、その理由を記入する。
	賞罰	年月日、種類、理由を記入する。
親又は親に準ずる者の住所		親がある場合にはその住所等を、両親と死別している場合でも祖父母、兄弟等親に代わるべき者がいればその住所等を記入する。
予備自衛官志愿意志		1等空佐以下で、在職期間1年以上の者だけ記入する。
任期付自衛官登録志愿意志		在職期間1年以上の者（定年退職者を除く。）だけ記入する。
備 考		隊友会入会の有無（例 隊友会入会一有）、再任用自衛官への志願の有無（採用の条件を満たす者に限る。）、その他特記事項があれば、それを記入する。
認 証		編制部隊等の長が確認する。

自衛官等離職者身上書				宛先地本	
ふりがな		男 -----		認識番号	A ー
氏 名		女		生年月日	年 月 日
退職時	階 級	(. .)		入隊区分 及び期別	第 期
	号 俸	(. .)			
	職 種	()			
	特 技	(主) () (従) ()			
	資格免許				
最終学歴					
勤 務 期 間		年 月 日 ～ 年 月 日 (計 年 月)			
最終所属部隊等		(基地)			
離 職 の 理 由					
勤 務 成 績 等	人事評価			勤務成績	
	能力評価		業績評価		
	☐ 卓越して優秀	☐ 卓越して優秀	☐ 非常に優秀	☐ 非常に優れている。	
	☐ 非常に優秀	☐ 非常に優秀	☐ 非常に優秀	☐ 優れている。	
	☐ 優良	☐ 優良	☐ 優良	☐ 普通である。	
	☐ 良好	☐ 良好	☐ 良好	☐ 劣っている。	
	☐ やや不十分	☐ やや不十分	☐ やや不十分	☐ 非常に劣っている。	
	☐ 不十分	☐ 不十分	☐ 不十分		
適 格 性		理由：			
☐ 適					
☐ 不適					
賞		罰			
身 体 の 状 況	入隊前の傷病歴		在隊中の傷病歴		災害補償関係事項
本 籍	都道府県	市区郡	町村	字	番地
退職後の住所	〒 都道府県	市区郡	町村	字	番地
退職後の予定就職先	〒 都道府県	市区郡	町村	字	番地
親又は親に準ずる者の住所	〒 都道府県	市区郡	町村	字	番地
予備自衛官志願意志	☐ 志願する。 ☐ 志願しない。 ☐ 分からない。				
任期付自衛官登録希望意志	☐ 志願する。 ☐ 志願しない。 ☐ 分からない。				
備 考					
認 証	上記のとおり証明する。 年 月 日 職 名 階級 氏名				

注： 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とし、縦長に使用する。